

岩手県立大学 IPULA と活動の変遷

～現在と未来～

～LAとは？～

ライブラリー・アテンダント、通称 LA は、本学メディアセンターで活動している学生ボランティアです。「学生目線での図書館創り」をモットーに、イベントや本の特集展示、利用案内などといった活動を行っています。学生の視点を大切にしながら、たくさんの人に利用してもらえるような充実した図書館を創ることを目指して頑張っています。

読書会の今

読書会とは、LAが開催する本好きのための企画で、特定のテーマに沿った本を持ち寄って紹介し、語り合います。今まで知らなかった本との出会いや自分の紹介する本の魅力を再確認したり、思いがけず趣味の合う読書仲間を見つけるなど、読書の楽しみが深まります。



オススメ本を紹介！
緊張します！

見て読む企画展示

メディアセンターでは、年に数回企画展示を行っています。これは、学生が読みたくなるような本をLAが選書し、図書館に展示するものです。学生自身が選書をしたことで、展示した本を借りていく学生が多く、なかなか好評です。自分が選書した本が借りられていると、大きな達成感を感じます。

LA 同士、協力して企画展示の準備中……



完成！！
やったね！

今まではこんな活動をしていたんだね！



学生参加型の企画展示へ

今までの企画展示ではLAが中心となって選んだ本を展示していました。今後は「学生の目線での図書館創り」という活動方針に合わせて、学生が読みたい本を募集・展示するというものや、LAが1人1冊本をPRし、どれを読んでみたいと思ったか学生に投票してもらおうというイベントなど、学生に選ばれた本を展示する企画を行ってみたいと考えています。

季節に合ったテーマの展示を始めました♪
7月は七夕がテーマです



「どこに展示する？」
作戦会議中……

学生目線の蔵書を目指して

メディアセンターではこれまで、「購入希望図書の受付」や「選書ツアー」を通して学生の『具体的』な要望を取り入れながら図書の購入を行ってきました。これからはもっと気軽に要望を受け付けたいということから「目安箱」を設置し、「猫がテーマの本が読みたい」や「これから流行りそうな小説を置いてほしい」などの『抽象的』な要望も取り入れたいと考えています。



新しい読書会

今までの読書会は参加者の多くがLAだったので、LA以外の学生が増えてほしいと考えています。そこで読書会をテストなどがなく、学生が参加しやすい学期が始まったばかりの時期にしてみようと考えています。また本のジャンルをわかりやすいものにして、たくさんの方が参加しやすい読書会にしたいと考えています。

「読書会に改革を！！」

